

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

女子 2回戦

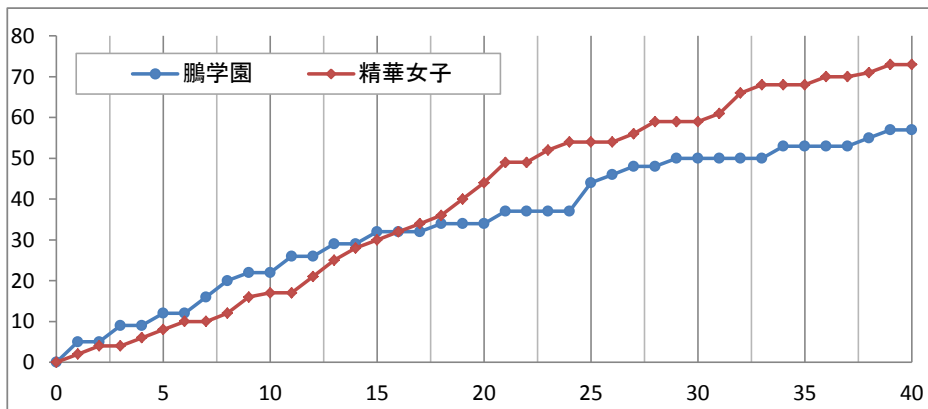
主審 那須 弘幸
副審 前花 直哉

鵬学園 57
(石川) ●

22	—	17
12	—	27
16	—	15
7	—	14
—	—	—

73 精華女子
○ (福岡)

No. 30h4 日時: 2013年7月30日(火) 15:02 会場: ダイハツ九州アリーナ



鵬学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 古田 有希 (C)	6	0	3	0	1
5	天坂 莉菜	0	0	0	0	0
6	宮下 真里奈	0	0	0	0	2
7	* 鷹合 優菜	12	0	6	0	1
8	* 川東 桃子	4	0	2	0	0
9	* 高僧 沙奈美	12	2	3	0	1
10	出島 凖朝	0	0	0	0	0
11	* 上浜 千明	8	2	1	0	1
12	天坂 怜香	13	3	2	0	2
13	松本 真衣	2	0	1	0	2
14	中川 春菜	0	0	0	0	1
15	中村 未来	0	0	0	0	0
コーチ 柿島 誠一						
合計		57	7	18	0	11

精華女子

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 足立 結唯 (C)	2	0	1	0	0
5	* 有田 かなな	16	0	7	2	3
6	* 瀬山 楓	23	0	10	3	2
7	* 後藤 優	17	1	7	0	4
8	* 大石 真央	15	2	4	1	1
9	細田 幸伽	-	-	-	-	-
10	藤田 さくら	0	0	0	0	0
11	渡辺 葵	-	-	-	-	-
12	栗原 颯生	0	0	0	0	0
13	土屋 りさ	0	-	-	-	-
14	渡辺 由依菜	0	0	0	0	0
15	橋本 真彩	-	-	-	-	-
コーチ 大上 晴司						
合計		73	3	29	6	10

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

2回戦、鵬学園対精華女子の試合。第1ピリオド、両チームマンツーマンでスタート。鵬学園は#11の3Pシュートが決まると勢いに乗り、#7#9のシュートで得点を重ねていく。精華女子は、#7のスピードあるドライブからの1対1、#6のジャンプシュートを中心として仕掛けていくが決まらずに苦しい展開が続く。鵬学園はリズムよいパス回しから、#4の連続ゴールでさらに勢いに乗るかと思われたが、精華女子も#5の1対1で応戦し、22-17鵬学園リードで終了。第2ピリオドも鵬学園はパス回しから#12#13のシュート、#9の3Pが成功する。精華女子は、#7が1対1を連続して決め、一進一退の攻防が続く。残り6分、精華女子はオールコートDefに替え、鵬学園のスローインをスティール。精華女子#5の3Pが決まる。ここですかさず鵬学園タイムアウト。再開後、精華女子はさらに激しいプレッシャーをかけていき、鵬学園のミスを誘う。精華女子は、#5#6の得点で流れを一気に引き寄せる。鵬学園は、#9の3Pで応戦するがリズムに乗れない。残り2分、相手のミスから精華女子#7のシュートで逆転に成功。その後も#6#8のシュートが決まる。残り1分、鵬学園2回目のタイムアウト。その後も流れが変わらず、44-34精華女子リードで終了。第3ピリオド、鵬学園はゾーンDefに変える。#12の3Pが決まり、流れを引き戻そうになるが、精華女子の落ち着いたパス回しから#8の連続3Pで流れを譲らない。鵬学園#12の2本目の3Pが決まったところで、精華女子タイムアウト。再開後、鵬学園はプレッシャーを激しくしていくが、精華女子#6のジャンプシュート、#7の3Pが決まる。鵬学園#4#7のシュートで応戦するが、59-50精華女子リードで終了。第4ピリオド開始早々、鵬学園はメンバーチェンジをする。しかし、精華女子#6のシュート、#8のスティールからの得点、#7の激しいDefで流れが変わらない。残り5分、鵬学園はたまたまタイムアウト。再開後、鵬学園は再度メンバーチェンジをして、ゾーンDefに戻し、#7#9の1対1で巻き返しを図る。鵬学園はDefも最後までオールコートでプレッシャーをかけ続けるが及ばず、73-57で精華女子が勝利を収めた。

© 2013 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.007a

記事者 末永 昭久 (所属) 大分県バスケットボール協会